

**ふじおか義英** 県議が2月25日、2月県議会（2/13～3/8）一般質問に立ちました。質問と答弁の要旨を紹介します。



## \*ブルーカードやピコカ等の個人情報の取り扱いについて\*

**ふじおか** Tカードの個人情報が、裁判所の令状なしで捜査当局に提供され、全国的な社会問題となった。長野県警もブルーカード・ピコカ等のカードの個人情報を、令状なしで提供を求め、それぞれの運営会社がそれに応じていたことが新聞報道で明らかになった。プライバシー保護の観点から大変憂慮する問題で、憲法の「令状主義」を前提に捜査すべきでは。

**県警本部長** 刑事訴訟法は、捜査について必要な事項の報告を求められることができると規定している。それに従い民間事業者から情報提供を受けている。

**ふじおか** 県民の不安解消のためにも、県はカード運営会社に対し利用者に個人情報をどのように管理し、どのような場合に捜査当局に提供しているのか、丁寧に説明するよう呼びかけるべきだ。

**知事** 消費センター等で県民の相談を受けた場合には、事業者の個人情報の取り扱い方針等を確認し、県として必要な助言を行うなど、適切な対応をしていく。

## \*\* 小諸養護学校について \*\*

**ふじおか** 小諸養護学校は開校当時は101名の生徒だったが、現在は233名と倍以上で、教職員は150名と、大規模校となっている。厨房や給食設備の増設及び拡大、トイレの改修、駐車場の拡充等、様々な切実な要望が出されている。現地調査にも行き、登下校の混雑も対策が必要と感じた。それぞれの要望や現状について、どのように受け止め、どのように対応するのか。

**教育長** 限られた予算の中可能な限り応えられるよう、緊急性、必要性の高いものから順次整備をしているところだ。

**ふじおか** 課題が山積している一番の原因が、生徒数の増加による過密化だ。1校で佐久地域全体をカバーしているため、遠隔地から通う生徒も多いことも大きな課題で、佐久市内か南佐久地域にもう1校特別支援学校をとの声もある。

佐久地域における特別支援学校のあり方について関係市町村と協議を始めてほしい。対応が急がれている。

**教育長** 当面は大きな変動は見込まれない状況なので、現行の配置の中で教育環境のさらなる充実に努めていく。

### 質問を終えて

建設部関係では、防災・減災対策が緊急に必要だとすぐに300億円の補正が組まれるのに、特別支援学校の実態は緊急ではないのか?!弱者に冷たい県政です。関係者と声を上げ、運動を広げていきたいと思えます。